

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	鹿妻穴堰管内水路等利用調整連絡協議会負担金			事業コード	2075
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	玉川 光宏	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 5目 農業基盤整備事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和60年度～)					
事務事業の概要	混住化により家庭等からの生活排水による農業用水の汚濁が生じているため、鹿妻穴堰管内の水利施設の維持、保全等について、関係機関が調整協議し、基幹水利機能を適切に維持管理するため組織された協議会運営経費の一部を負担。					
根拠法令等	鹿妻穴堰管内水路等利用調整連絡協議会規約					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
土地改良区管内の急激な都市化に伴う農業用排水路施設の水路施設の崩壊や水質汚濁、農作物に対する被害などの問題の解消のため昭和57・58年度、昭和59・60年度の2回の協議後に整備計画の運用指針を策定、盛岡市(農政課、下水道部)、矢巾町、紫波町と鹿妻穴堰土地改良区で協議会を構成し、事務局を鹿妻穴堰土地改良区に置いている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特にナシ						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
混住化がますます進行し農業用水の水質も悪化傾向にある。農地や水等の資源保全を図る。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	鹿妻穴堰管内水路等利用調整連絡協議会	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 鹿妻穴堰土地改良区管内の水利施設	単位	m
				B. 会員数(市町、土地改良区)	単位	団体
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 負担金の支出 ・会議への出席 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 負担金の支出 ・会議への出席	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 負担金件数	単位	件
				B. 会議出席回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	改良区と市町の連絡協議を促進し、改良区間内の事業基盤の確立を図る	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 負担金支出割合(支出済負担金/支出予定負担金) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 会議出席割合(会議出席回数/会議予定回数) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	鹿妻穴堰土地改良区管内の水利施設	m	8182	8182	8182	8182	8182	8182	26年度 8182
対象 指標B	会員数(市町、土地改良区)	団体	4	4	4	4	4	4	26年度 4
対象 指標C									年度
活動 指標A	負担金件数	件	1	1	1	1	1	1	26年度 1
活動 指標B	会議出席回数	回	1	1	1	1	1	1	26年度 1
活動 指標C									年度
成果 指標A	負担金支出割合(支出済負担金/支出予定負担金)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標B	会議出席割合(会議出席回数/会議予定回数)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	90	0	90	90	84	84	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	90	0	90	90	84	84	*****
	⑧その他	千円	0						*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	90	0	90	90	84	84	*****
	延べ業務時間数	時間	10	10	10	10	10	10	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	40	40	40	40	40	40	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	130	40	130	130	124	124	*****



3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 農地や水等の資源保全を図ることにより、生産性の向上を図る。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 生産性向上のための連絡協議会に市が負担金を支出することは、妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象施設が限定されているため、妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象施設が限定されているため、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現在の事業で十分効果を上げている
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 農地や水等の資源保全を図ることができなくなる
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 面積割合等により負担割合が決まっている
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 負担金の支出が主な業務内容であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 対象施設が限定されているため、公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 面積割合等により負担割合が決まっている

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り, 反省点)						
	① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :							
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)							
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
								
方向付けの理由と改革改善の内容 鹿妻穴堰管内の水利施設の維持、保全、関係機関調整を図ることを目的とする協議会への負担金であることから、継続する。								